

職位/Position 教授 教員氏名/ Name 石井伸一	オフィスアワー/Office hours F2は月曜日3限、火曜日4限	研究室/Office number 4501
教員の所属学会並びに社会活動・課外活動顧問など/Affiliated Academic Society & Social Activity ・日本交通学会、日本土木学会、World Conference on Transport Research ・ISO/TC122/WG12 (Supply Chain Application of Logistics Technology) 委員会議長 ・UN/CEFACT日本委員会委員長（一般社団法人日本貿易関係手続簡易化協会） ・物流における電子タグの利活用検討委員会委員（一般社団法人日本自動認識システム協会） ・次世代ロジスティクス研究会（早稲田大学総合研究機構次世代ロジスティクス研究所） ・日本創成委員会委員（一般社団法人日本プロジェクト産業研究会） ・首都圏グローバルハブ空港研究会委員（一般社団法人日本プロジェクト産業研究会）		
ゼミ名/Seminar グローバルサプライチェーンマネジメント、国際ロジスティクス		
2年次までに修得していることが望ましい科目/ Preferable courses should be taken before the end of second-year studies ロジスティクス概論、国際ロジスティクス論、経営戦略論、貿易論、企業財務、管理会計		
研究指導内容とその進め方/Teaching system and content I. 初年度（3年次）/First year(third-year students) 以下の内容を候補として、ゼミ生の要望を聞き入れて決定する ・The GOAL(Elyyahu M. Goldratt and Jeff Cox)の原書購読 ・企業研究（各人が企業一社を選び、その企業について多角的に調べ報告、プレゼン） ・企業訪問（ゼミ生の興味関心による）		
II. 次年度（4年次）/Second year (fourth-year students) ・企業研究もしくは地域研究をテーマとした卒業論文を作成するために、以下の4回のプレゼンは必須。 第一Q 問題意識とテーマ設定に関する報告（プレゼン） 第二Q 中間報告（プレゼン） 第三Q 卒論作成計画（プレゼン） 第四Q 卒論概要報告報告（プレゼン） ・グループワークによるディスカッション（複数テーマ）		
III. 卒業論文の指導、その他指導について/Graduation thesis guidance and others ・卒論のテーマは、企業研究もしくは地域研究とする。 ・大学院でさらなる高みを目指したい学生には修士論文につながるテーマを設定する ・国際ビジネス、RFID業界、貿易、国際物流企業への就職を目指す学生には直接就職指導を行うことがある		
教科書、参考書などについて/Textbooks, reference books ・ザ・ゴール、新規事業開発 ・経済小説（フィクションであるが、取材をもとにしているものが多い）		
ゼミライフ：(合宿、ゼミ会等)/Seminar activities(meetings, training camps) ・ゼミ生の希望と自主性に基づく、企画立案による（3年次に訪問先を決め、4年次の夏S2の終わりに実施。宿泊を伴う場合、計画をつくり、各自が予算を積み立てる必要がある）。 ・大学院国際アドミニストレーション研究科のゼミ生（ほとんどが留学生）との交流あり。現在、大学院（国際アドミ）で十数人の修士論文を指導している。		
ゼミ生に対する要望・注意等/Requests, comments ・21年3月まで民間企業で戦略コンサルタントとして働いていた（社会人から転職してきた）教員なので、産業界とのつながりが多い。特に物流系、国際貿易系企業の企業見学を予定している ・結果主義。成果を求める。特徴としては体育会系を志向。かなり厳しいと思った方がよい。 ・覚悟を決めて入ってくること。卒業時には充実感とともに、当校に入ってよかったと思ってもらえるよう心掛けている。 ・健康診断を受けていないと（大学のルール上）学外授業が許可されないため、本ゼミへの参加は不可		